

令和6年4月27日(土)

午後1時開演[午後0時30分開場]

片山定期能 四月公演

於/京都観世会館

一七十四ノ二

能「景清」古橋 正邦

狂言「杭か人か」小笠原 由禰

能「玄象・替之型 早装束」

味方玄 ほか

片山定期能
楽会

13:00

能 景 清

—かげきよ—

シテ/童子
ツレ/人丸
トモ/従者
ワキ/里人

古橋 正邦
青木真由人
大江 広祐
江崎欽次朗

笛 森田 保美
小鼓 林 吉兵衛
大鼓 河村眞之介

地謡 片山九郎右衛門
片山 伸吾
田茂井廣道
大江 信行
深野 貴彦
橋本 忠樹
河村 和貴
浅井 風矢

後見 青木 道喜
梅田 嘉宏

——休憩10分——

14:35

狂言 杭か人か

〈和泉流〉

—くいかひとか—

シテ/太郎冠者
アド/主人

小笠原由詞
小笠原弘晃

後見 泉 慎也

14:50

仕舞 兼 平

シテ/今井兼平の靈

雲雀山

シテ/乳母の侍従

高野物狂

シテ/高師四郎

善知鳥

シテ/獵師の靈

—かねひら—

大江 信行

—ひばりやま—

片山 伸吾

—こうやものぐるい—

片山九郎右衛門

—うとう—

杉浦 豊彦

地謡 橋本 磯道
橋本 忠樹
河村浩太郎
片山 峻佑

——休憩10分——

15:20

能 玄 象 替之型 早装束

—げんじょう・かえのかた はやしろうぞく—

前シテ/尉
後シテ/村上天皇の靈
ツレ/藤原師長
ツレ/姥
ツレ/龍神
ワキ/師長の従者
ワキツレ/従者

味方 玄

青木 道喜
分林 道治
味方 梓
有松 遼一
岡 充

笛 左鴻 泰弘
小鼓 成田 達志
大鼓 河村凜太郎
太鼓 前川 光長

地謡 武田 邦弘
河村 博重
田茂井廣道
深野 貴彦
梅田 嘉宏
河村 和貴
河村浩太郎
宮川 卓也

後見 片山九郎右衛門
大江 信行

16:50頃 終了予定

演目解説

平家の勇将悪七兵衛景清は、今は日向の国宮崎に流されて、盲目の乞食となっている。そこへ父を慕う娘の人丸が従者を連れて鎌倉よりたずねてくる。そして一軒の藁屋でその行方を尋ねるが、他で聞くように言われる。ところが里人に聞くと、先程の乞食こそが景清であるというのだ。娘は父がこれほどまでに落ちぶれているとは思ってもいないし、景清も娘の行末を思うと、名乗ることが出来なかったのである。里人に伴われた人丸が再び藁屋を訪れると、景清は頑なな心を和らげて対面する。景清は人丸に聞き終えたら鎌倉へ帰るという約束をさせた上で、源平屋島の合戦で敵方の三保谷四郎と兜の鏝を引き合った武勇談を語る。そして亡き跡の回向を頼んで涙ながらに別れを告げるのであった。

数ある親子再会物の中でも、珍しい種類の能である。親子は互いに狂うこともなく、現実の状況を確認した上で永訣を覚悟する。戦語りの場面は迫力があり、その印象が強く鮮やかであるが故に、その後の別離はあまりにも哀れで悲しい。

狂言 杭か人か 上演時間:約15分

主人は自分が出かけると太郎冠者も外出して留守番をしていない様子を知り、とある日、出かけたふりをして様子を窺う。太郎冠者は、主人の留守には外で気晴らしがしたいと独り言を言うが、どうやら主人が感づいているらしいと思い、謡を謡ってまどろむ。ところがあまりに退屈なので、棒を持って屋敷の周りの火の番をはじめのだが……。

能 玄 象 上演時間:約1時間30分

琵琶の名手である藤原師長は、日本においてはもはや並ぶ者がなく、入唐して琵琶の奥義を極めんと志を立て、須磨の浦に着く。潮汲みの老夫婦の塩屋に、一夜の宿を借りる一行。師長はその家の主人の所望で琵琶を弾く。するとにわか村雨が降り、演奏の邪魔をする。老人が苦を捕り出して屋根に上げるので不思議に思うと、こうして琵琶の音と雨音の調子を合わせるのだと説明する。師長一行は驚き、老人に琵琶を所望すると、老嫗の琴と弾き合わせて感涙も溢れるほどの音を奏でる。師長は自分の慢心さを恥じ、立ち去ろうとするが、老夫婦はこれを留め、自分達は琵琶の名器「玄象」の持ち主であった村上天皇と梨壺の女御であると名乗り、師長の入党を留めるために夢中に現れたのだと告げて消失せる。

やがて霊は昔の姿となって現れ、衣冠を正した村上天皇は、父醍醐天皇の御代に唐から渡った「玄象」「青山」「獅子丸」の三面の琵琶の名器のうち、龍神に取られ海底に沈んだ「獅子丸」を取り返し、師長に授ける。二人はそれぞれに秘曲を奏で、天王は興に乗じて舞い、やがて昇天する。師長もまた都へと帰るのだった。

現実と夢の世界が不思議に交わりあった夢幻能の中でも、特にムードを持った曲である。「ばらりからり、からりばらり…」と、琵琶をつま弾く擬音がストーリーに臨場感を持たせたり、全編にわたって変化に富んだ見どころの多い曲である。

次回公演の御案内

片山定期能7月公演

令和6年7月28日(日)
午前11時開演
[午前10時30分開場]

能	「仲光 愁傷之舞」	青木 道喜
狂言	「萩大名」	茂山七五三
能	「羽衣」	味方 梓
能	「国栖 白頭」	橋本 忠樹

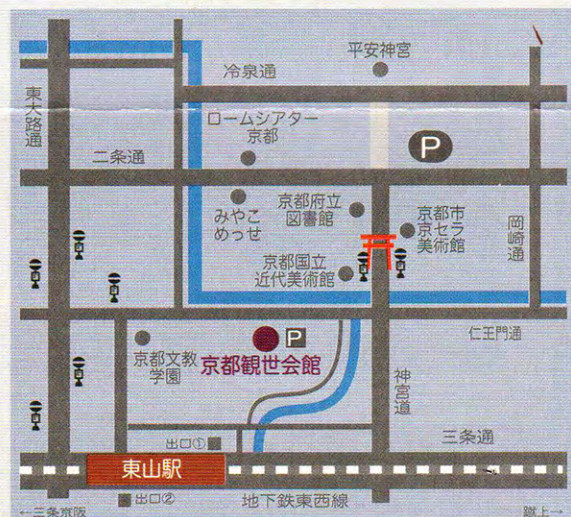
入場料

[全席自由]

一般前売 4,000円
一般当日 4,500円
学生 2,000円
回数券 17,000円
(五枚綴)

チケット取扱所

京都観世会館
075-771-6114
9~17時 月休
片山定期能楽会事務局
075-551-6535
10~17時 土日休



会場/京都観世会館

京都市営地下鉄東西線「東山」駅下車 徒歩約7分

▽出演者等の変更がある場合は御了承くださいませ。
▽見所内での写真撮影・録画・録音は固くお断り致します(指定業者を除く)。
▽同じく見所内での携帯電話やスマートフォンは、必ず電源をお切り頂きますようお願い申し上げます。
マナーモードも御遠慮くださいませ。